

平成25年度第6回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成25年（2013年）11月26日（火） 午後2時00分～同4時10分

(2) 開催場所 宝塚ソリオホール 306会議室

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、中嶋委員、三谷委員、柏樹委員、波田委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

山下室長、西本課長、君田係長、谷口係長

・事業者

議事① 事業者 阪急電鉄株式会社

設計者 阪急コンサルタント株式会社

(4) 議事

議事① 宝塚市武庫川町寮新築工事

(5) 傍聴者

なし

2. 会議の要旨

事務局：本日の審議会（部会）は、委員6名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会長：了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、岩井委員と中嶋委員です。

☆☆☆★ 宝塚市武庫川町寮新築工事 ★☆☆☆☆

会長：開発事業の概要について説明を求めます。

設計者：計画の概要について説明します。

①周辺の景観との調和に関する基本的な考え方

既存樹木は出来る限り保全すると共に、周辺環境と調和した形態・意匠・素材等を活用します。

②建築物等の規模、配置及び敷地の利用に関する考え方

歩道側に近接して建てると圧迫感があるため、境界線から建物を後退させて

配置し、既存樹木を緩衝帯として残す計画とします。建物の性質上、中を覗かれないように約2mの塀を歩道側に配置するが、歩行者の圧迫感に配慮し、塀を後退させて、足元に植栽帯を設ける計画とします。

③建築物等の外観の意匠、材料及び色彩に関する考え方

建築物の外観の意匠は宝塚らしい落ち着いたものとします。外壁は周辺環境に溶け込むYR系の吹付けタイルを基本とし、基壇部は高級感のある石目調吹付けタイルとする。

④土地の形質及び植生に関する考え方

本開発事業計画区域内の西側にあるイチョウ・クスノキなどの既存樹木のうち、施設計画に支障のないものは伐採せずに残し、従前の環境・景観に配慮します。上記以外の植栽は撤去するが、新たな植栽を行い必要緑化面積を確保します。

⑤広告物に関する考え方

建築物の壁面や塔屋、屋上などを利用した広告物の掲出は予定していません。

建築物は、敷地の北東に配置し、道路に接近して建てると圧迫感が出るため、道路から後退した位置に配置しました。

既存樹木はできる限り保全する考えで、6本残す計画です。その他の緑地は、メンテナンスフリーの低木を計画しています。

敷地の北西角に駐車スペースを設けており、建物の裏手と駐車場は、アスファルト舗装を計画しています。道路に面する外構は、建物の性質上、中を覗かれない様、高さ2mの塀を設けますが、歩行者の圧迫感に配慮し、塀の前に植栽帯を配置する計画としました。

外壁は、宝塚のスタッコカラーとし、基壇部は石目調の吹付けタイルで重厚感を出しました。また、柱を少し出すことにより長大な壁面を和らげ、柱で分節された腰壁部分にタイルを貼ることによりアクセントを付けています。エントランス部分には、アクセントとして、宝塚カラーのグリーンを配置しました。

階段室部分の屋根は、宝塚大劇場のスパニッシュ調の瓦を模したものとし、左右同形では面白くないので、北側を寄棟、南側を片流れとしました。

会長：西面の塀について、北側はフェンスですが、南側は全て2mの塀になっています。また、立面図などでみると、南面は途中から絵がないですが、書かれていないところも全て2mの塀になるのですか。

設計者：道路に面する外構について説明します。北側から、駐車場部分はグリーンの槍型のフェンスで考えています。扉は常時閉鎖ですが、車の出入りがあるため槍型の柵は、透ける形にしています。

正面玄関とその横の小扉も駐車場と同様に槍型の柵を計画していますが、覗かれないよう裏板をあてる予定です。

正面玄関から南は、2m程度の塀を設置する予定ですが、歩道部分と高低差があるところについては、現在、槍型の柵が道路に設置されていますので、その取り合いは調整が必要と思っています。

委員：覗かれないように塀を設けておられますが、具体的にどの部分を見られてはいけないのでしょうか。

事業者：建物用途が寮のため、**プライバシー保護の面からも興味本位で覗かれることは極力避けたいと考えています。**

委員：人の出入りはどの様になるのでしょうか。正面の門扉や脇にある片開きの扉は、ナンバーキーにされるなどして、常時は閉鎖なのでしょうか。

設計者：常時施錠状態です。

委員：市の条例で自転車置き場の設置規定があつて、この様に大規模な駐輪場を計画されていると思いますが、実際、何台くらい必要なのでしょうか。

事業者：寮生の足は、主に自転車ですので、**ある程度の台数は必要です。**

委員：現在の寮の状況を勘案して、今回の外構計画なのでしょうか。

事業者：現在は、**劇場**と少し離れた場所に寮があるため、**一般の人が集まる**という問題は起きていませんが、当該計画は、**劇場に近い**ため、より慎重になっています。

委員：そうであれば、敷地の東面は、メッシュフェンスですが、問題ないのでしょうか。

事業者：**目隠しのあるメッシュフェンスであり、また、敷地の東側も当社が所有しており、今後、建築物を計画したいと考えていますので、問題ないものと考えています。**

委員：今回計画している寮はまち中にありますので、とても印象的な場所となります。そこで2mの塀を設けるとするのは、やはり、まちに対して閉じた印象を与えてしまいます。もし視線を遮ることが目的であるなら、塀をメッシュフェンスに変え、その後ろに生垣をする方法もあります。その方が、まちに対してやさしいと思います。

事業者：生垣は、**成長して中が見えなくなるまで時間がかかります。すきまから見えるかも、**という意識がでますと、**中を見るために立ち止まることになりかねない**ため、一部セットバックしてでも塀を建てて、**塀の前面**で緑化を行うという考えで行なっています。

会長：見える**可能性**を完全にシャットアウトするという意識があるのですか。

事業者：**その通りです。**

委員：侵入防止は、どのようにされるのですか

事業者：侵入防止のためのセキュリティはかなり気を遣おうと考えてます。

委員：セキュリティはきちっとしていただくのは当然のこととして、視線の話だとは思いますが。

委員：出待ちの想定はしておられますか。

事業者：寮であり、近隣の迷惑にもなりますので、建物周辺に人がたまらないようにしたいと考えています。

歩道に人がたまると、通行に支障をきたすとのことご意見を頂戴することがありますので、立ち止まらない様にしたいと思っています。

委員：セキュリティは大切ですが、まちなかに計画されていることを意識していただきたい。

事業者：そのため、道路から後退して建物を配置し、その間に既存樹を残しています。

設計者：当初、塀は道路境界線ギリギリに配置していましたが、セットバックをして緑地を設けています。また、出待ちのスペースを設けると、待っても良い場所となってしまいますので、設けることはできません。

会長：この場では、結論がでないと思いますので、協議部会からは、強くフェンスと生垣を組み合わせることや、閉鎖感を和らげるよう検討することをお願いします。

委員：屋根の色についてですが、大劇場と同じ色にさせていただいたと思うのですが、大劇場は瓦ですのでテクスチャーがあって陰影が出ますが、ガルバリウム鋼板となると陰影が出ませんので、10R5/10だと、少しきつい色になると思います。それと、屋根の色については景観計画に基準がありますので、10R5/10を10R5/6以下におさえてください。

事業者：それは、修正させていただきます。

会長：それ以前に、この屋根は本物の瓦葺になりませんか。

設計者：構造的な面から、重量が重くなる瓦葺は難しいと考えています。

委員：建築物本体についてですが、この建物は一階のベースは基壇をかまえて、その上に建物がのっているという設計者の意図が感じられますので、柱を一階まで通すより、基壇は基壇で構えて、2階より上から柱形を出すほうが良いと思います。一度スケッチして検討してみてください。2階より上部の腰壁については、柱の間隔だけで構成されていますので、部分的にスリットを入れるなどスッキリしたものを入れると良いと思います。平面図を見ると各住戸の間に隔て板を設けられるようですので、それを考慮して腰壁に切り込みなどを入れるとデザインが出て良いと思います。腰壁の上に設置しているガラス板が横に入

っていますので、隔て板と腰壁のスリットで縦をきかすととても良くなると思います。

委員：1階まで柱を通さずに、1階と2階の間に小庇を入れる方が締まってくると思います。もう一味加えていただくと良いと思います。

委員：中は覗かれたくないでしょうが、歌劇とのつながりで建物を見ることになるのでそれなりにデザインされたほうが良いと思います。監獄の様ではなく視線を上手に切ることを考えていただけないでしょうか。

会長：基壇部は石目調の吹付けタイルではなく、本物の石が貼れないでしょうか。

委員：石でなくても、手割のタイルや、部分的に本物の材料を使用していただくと、見た目が変わりますので、検討していただきたい。

委員：宝塚に共通するソリッドなデザインは、個人的に好きですが、もっとデコレーションをかけたほうが良いと思います。あまりに乾きすぎていると思います。

委員：植栽計画について、既存樹は大木ですが、新たに植栽するものは全て低木ですか。

設計者：中高木の計画はありません。メンテナンスフリーの低木のみを選定しています。

委員：駐輪場の面積が大きいです。例えば上屋の計画がない駐輪スペース部分の位置を南側にもっていき、その部分を緑にすると印象がアップします。

委員：工夫次第で上屋のない駐輪スペース部分は変化するので、緑化スペースを確保するように駐輪場計画のときに考えていただきたい。

委員：駐輪場の上屋は、道路から見えないですね。

設計者：歩行者からは見えません。色はあまり目立たないグレーを考えています。

委員：南面のデザインは、立面図のとおりですか。南には、公開空地がある敷地もありますし、中景の視点場になるところがあると思います。

設計者：建築物は西面の正面に力を入れています。歩道の脇にも間の土地があり、緑が残っていますので、建物が隠れると思っています。

会長：宝塚は礎石造をイメージした縦に長いスリット窓が多いので、基壇部より上部の横に繋がった窓は、違和感があります。

設計者：当然大劇場は意識してデザインしていますが、この部分については各階の排煙窓であり、計算上もこれだけの開口が必要です。縦長にすると排煙が確保できません。

委員：階段室や一番端の部屋にも窓を設けてはどうでしょうか。

設計者：一室につき2名が使用するため、使い勝手上開口部が設けられないことと、どの部屋にも差がないようにすることが必要ですので、妻側だけに窓を設ける

ことはできません。

委員：検討されたらというアイデアですが、階段室と同じ色の壁面に排煙窓がいきなり出てきていることが全体として馴染みが悪いので、本来バルコニーが通っていてもいいような空間となっていますよね。だからむしろバルコニーのデザインを階段室のほうまで通してしまって、サッシも小さくしないで必要などころにだけ開口を取ってしまう。そのときに何も無いベランダだけでなく、方立てがでてくるリズムを入れてはどうでしょうか。その方が馴染みが良いと思いますが、デザインを検討する中でお考えいただきたい。

委員：この敷地は角地であるから、まちからすれば妻面も正面ですので同じように考えていただきたい。

委員：当該計画は、これから作りこんでいくと思いますが、足元まわりからの目線と少し遠くからの見え方を意識する必要があると思いますので、足元まわりのテクスチャーをつくりこんで頂きたいことと、まちに溶け込んだときのディテールを見つめていただきたいです。

委員：無駄のないデザインは好きですが、完成形でないというのはわかるが、デコレーションで少し遊んでも良いのではないのでしょうか。

委員：もう少し愛嬌を持っていてもいいのではないか。

委員：今既存である建物は非常によく作りこんでいるので、デザインだけを踏襲するのがよい訳ではないと思います。本当は前に残していただいて後ろに建てるとかで稽古場で使っていただくのがいいのかなと思いますが、既存と比べて、今図面でいただいているものは大雑把かなという気がします。

会長：当該計画は、本日の意見を踏まえて、もう一度デザイン協議部会にはかかっていただきたい。また、本日、緑が専門の委員が欠席ですので、事務局から意見を聴いてそれも併せて検討してください。